

平成28年度吉見町総合教育会議会議録

| | | |
|-------|----------------------|-------|
| 開催通知 | 平成29年1月27日 | |
| 開催期日 | 平成29年2月7日 | |
| 開会場所 | 吉見町役場 庁議室 | |
| 開閉日時 | 平成29年2月7日 午前10時00分から | |
| | 平成29年2月7日 午前11時55分まで | |
| 議長 | 新井保美町長 | |
| 出席委員 | 町長 | 新井保美 |
| | 教育長 | 久保田幸夫 |
| | 教育長職務代理者 | 松本晃 |
| | 委員 | 沖田達雄 |
| | 委員 | 坂本朱美 |
| | 委員 | 加藤千枝子 |
| 会議出席者 | 教育総務課長 | 大野猛 |
| | 生涯学習課長 | 田島秀之 |
| | 教育総務課課長補佐 | 澤田貴雄 |
| | 教育総務課学校教育 係長兼指導主事 | 齊藤浩正 |
| 書記 | 教育総務課課長補佐 | 関根久 |

1 開 会

教育総務課長 皆様こんにちは。本日は御多用の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、只今から、平成28年度吉見町総合教育会議を開会いたします。

2 町長あいさつ

町 長 本日は、御多用のところ吉見町総合教育会議に御出席いただき誠にありがとうございます。教育長及び教育委員の皆様方には日頃より町の教育行政の推進に格別な御理解・御協力を頂き深く感謝申し上げます。現在、小中学校では緊急に対応しなければならない事案はなく、吉見町の教育は望ましい方向に進めていただいております。教育施設では、平成26・27年度に小中学校の普通教室の内装木質化や空調設備の設置等を行い児童生徒の学習環境の整備を行いました。風邪をひいている児童生徒も少なく良い学習環境となっております。また、生涯学習施設については、現在、図書館と公民館との複合施設の建設に向け検討を進めております。本日は、平成28年度第1回の総合教育会議でありますので、慎重審議に御協力頂きますようお願い申し上げます。

3 議事

議 長 議事（1）学力向上の取り組みについて、事務局より説明をお願いします。
（議事（1）学力向上の取り組みについて、事務局より説明。）

議 長 只今、事務局より説明がありました。学力向上の取り組みにつきまして何かご質問等がありますか。

松本委員 日本漢字能力検定を公費で受検できることは大変ありがたいこととあります。児童生徒や教員は、受検するからには合格することを目標に取り組んでもらいたいと思います。

沖田委員 漢字検定について、小学校では児童や教員がいちご学習ノートを活用し漢字の学習に取り組む、年間を通じて漢字学習の習慣化が図られているように感じる。中学校は結果を見ると、稲穂学習ノートを活用しての家庭学習に取り組んでいることも少ないのではないかと思う。また、中学校の漢検受検日が7月上旬で、期末テストや部活動の練習と重なってしまっ漢字学習に取り組めなかったのではないかと思う。

大野課長 平成29年度の漢字検定は小中学校とも11月に実施の予定です。

坂本委員 中学校では漢字学習をもう少し習慣化してやっていかないといけないと思う。小学校卒業程度の級であれば全員合格でなければならない。平成29年度は、小学校卒業程度の5級をクリアすることを目標に取り組んではどうか。

教 育 長 小学校では漢字検定に向け計画を立てて児童を指導しているが、中学校では計画を立てて生徒を指導していないように感じる。国語の担任が意識を高く持って取り組めるかが重要である。

教育長 埼玉県学力・学習状況調査では、中学校が伸びていない。小学校では5年生が良い成績をとっているが6年生、中学1年生になったときにどうなるか、十分見極めていかなければならない。

加藤委員 6年生の国語を見ましたが読解力がないと解けないと感じました。本を読む習慣を身に付けた方が良いと思うので読書をするように取り組んでもらいたい。

教育長 南小学校で授業を見た時に、児童が言葉の意味を調べた国語辞典の箇所が付箋を貼って覚えていた。辞書を身近において調べていくことは他の児童生徒の学習方法として参考になると思う。

松本委員 新聞記事に福岡県の中学校では生徒同士が教え合う「学び合い」により学力向上につながったという事例が紹介されていた。アクティブ・ラーニングの取り組みとして参考になることだと思う。

議長 中学校の漢字検定について、上の級を目指して挑戦することは良いことである。また、さらに成果を上げるには教員の指導、学習方法の改善が必要である。学習方法等を改善することは、漢検だけにとどまらず広く児童生徒に影響してくるので検討してもらいたい。

議長 次に、議事（2）コミュニティ・スクールについて、事務局より説明をお願いします。

（議事（2）コミュニティ・スクールについて、事務局より説明。）

議長 只今、事務局より説明がありました。コミュニティ・スクールにつきまして何かご質問等がありますか。

教育長 町内の小中学校では、学校応援団や北の親父などと連携を図り学校運営に取り組んでいる。この制度は、学校運営に対し地域と教職員の間で改善等が必要な場合に学校現場に新しい風を入れていくためのものではないかと考えている。

沖田委員 通常では、校長がしっかりしていれば必要のない制度だと思う。

松本委員 吉見町には学校評議員制度があり、コミュニティ・スクールの構成員とほぼ同じであるためを導入する必要はないと思う。

坂本委員 学校と地域の連携が図られていない状況であれば、このような制度が必要になるかもしれないが、現在、学校運営に問題等が生じていない状況にあることや学校評議員制度が十分機能しているので導入の必要ないと思う。

議長 町内では学校評議員制度等が十分に機能し学校運営は順調に推移している。現在、このような制度を導入する状況ではないと思う。今後、学校と地域の連携が図られず学校運営に支障が生じるような状況になった場合は検討していかなければならない。この制度の良いところ、課題となるところを分析するとともに、この制度を導入している教育委員会の導入背景を調べてみてはどうか。

議長 次に、議事（3）いじめの現状について、事務局より説明をお願いします。

（議事（3）いじめの現状について、事務局より説明。）

議長 只今、事務局より説明がありました。いじめの現状につきまして何かご質問等がありますか。

教 育 長 不登校について、中学1・2年生はほとんどないが、中学3年生になると不登校になってしまう生徒がいる。学年が進むにつれて不登校が増えている。不登校については、1人でも少なくしていかなければならないと考えている。

沖田委員 不登校の対応としては、計画的に生徒に働きかけることが必要だと思う。学年担任以外でも働きかける人がいると良いと思う。いろいろな方面から働きかけることが大切である。

坂本委員 担任の先生以外で子どもの気持ちを受け入れられる場所を作っておく必要がある。家庭的な問題や学力の問題などで不登校になる場合があるので、きめ細やかに対応する必要がある。

坂本委員 中学1年生の問題行動について。

事 務 局 中学1年生の女子が携帯電話でのやり取りをしている中でいざこざが生じてしまいました。

議 長 人間関係は常にトラブルが発生している状況にある。いじめ等に発展する前に迅速に対応をお願いしたい。また、不登校は原因を取り除く取り組みが必要で解消を目指していかなければならない。

議 長 他に質疑等もないようですので、以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたします。皆様の御協力に感謝申し上げます、議長の任を解かせていただきます。

4 その他

5 閉会

教育総務課長 それでは、他に意見等がないようですので、本日の会議はすべて終了とし閉会とさせていただきます。慎重な御審議を賜り誠にありがとうございました。